

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人仁摩福祉会	代表者	松浦 市正	法人・事業所の特徴	大田市の中心にあり、海、山、川が近くにあり街中に出やすい環境で、祭り事や催事に出掛けやすい。家庭的な雰囲気の事業所で、季節の食材にこだわり健康に配慮した手作りの食事を提供している。また、月々の行事を大切に、利用者、家族と一緒にやっている。
事業所名	小規模えがお	管理者	渡辺 絵利子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	1人	0人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所の評価の取組みは出来ているが、全体的に質問がわかりづらかった。	評価委員の方に、言葉の説明やわかりやすくするような配慮をする。項目について理解を深める。
B. 事業所のしつらえ・環境			しつらえや、環境は良いが事業所に来ることがあまり無い為、判断が難しい。もっと地域の方が来やすい工夫が必要。	地域の方に事業所での行事に参加の呼びかけ、入りやすい環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり			地域への参加、祭り等に参加出来ている。事業所を知らない人が多く、始まったばかりなので今後の発信が大事だと思う。	地域の方に来ていただけるように夏祭りを企画する。広報等でしっかりお知らせをし、事業所や小規模多機能型居宅介護支援事業所のサービスを知って頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域の方、家族の代表が運営推進会議に参加できている。事業所の地区の行事には参加出来ているが利用者の住んでいる所への参加が少ない。	利用者の住んでいる地域の行事を情報収集して、参加をして行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議で出た意見をきちんと聞き改善出来ていた。地域の心配事等は個人情報保護法もあり情報交換は難しいと思う。家族はどう思っているのかを知りたい。	運営会議で、地域の方からの心配事や相談できる場所を示せる仕組み作りをする。家族へのアンケートを実施し、家族の声を聞いてみる。

F. 事業所の 防災・災害対策			事業所内の訓練を実施している事はわかるが、地域の防災訓練が無い。地域も考えて行かないといけない。	事業所の防災訓練への参加して頂けるように声掛けを行う。
--------------------	--	--	--	-----------------------------